

きくかくえがく

～東京のふるさと・自然公園～

発表会 3.21 木・祝

東京都庁・都民ホール 13:00 - 16:00

入場無料 / 当日先着順 (定員 100名)



中学生以下の来場者には
檜原村グッズプレゼント!
(先着50名様)



影絵出演

川村 亘平 齋 (影絵師) 田中 馨 (音楽家)

発表会の見どころ 檜原村を訪れた中学生が「きく・かく・えがく」活動から得た学びを発表します。

江戸時代から続く林業家・田中惣次さんも登壇! /

プロのアーティストと中学生が共演! /

- 1 東京の自然の奥深さを学べる
- 2 檜原村がテーマの影絵芝居上演

お問い合わせ: きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～実行委員会事務局 (NPO 法人共存の森ネットワーク)
tel:03-6432-6580 mail:info@kikigaki-jr.net (担当: 工藤・吉野)

主催: 「きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～」実行委員会 (東京都 / 檜原村 / NPO 法人共存の森ネットワーク)
協賛: 東京ガスグループ「森里海つなぐプロジェクト」 協力: 株式会社ベネッセコーポレーション 進研ゼミ中学講座
助成: トヨタ環境活動助成プログラム / (公社) 国土緑化推進機構 緑の募金 後援: あさる野市、青梅市、奥多摩町、日の出町

東京都 HP はこちら



森の東京へ会いにゆこう。

VOL.1 檜原村

11月、東京の中学生たちが檜原村を訪れました。新宿から1時間30分。山々に囲まれた森の東京は、意外と都会から近いところにありました。

そこで出会った林業家、川漁師、山荘のおばあちゃんたち。

森のはなしをたくさん聞かせてもらいました。

都会育ちの中学生にとって、それは不思議な不思議なエピソードでした。

だけどその全てが、自分が暮らす東京と地続きの、「森の東京」のほんとの暮らし。

鮮烈だった檜原での3日間の時間。見て聞いて感じた森の暮らしを、中学生が短い物語に凝縮しました。そこにはどんな世界が広がっているんだろう。ひとりひとりが書き上げた物語を軸に、影絵をつくってみました。

さあ、森の東京へようこそ。1日限りの発表会のはいまりはいまり。

2019.3.21 13:00-16:00 (受付 12:30-)

東京都庁・都民ホール

(東京都新宿区西新宿 2-8-1 都議会議事堂 1 階)

東京都 HP はこちらからご覧いただけます。——



開会

「きく・かく・えがく」活動紹介

影絵芝居上演

アフタートーク

修了証授与・閉会



<製作・出演>



川村亘平齋 影絵師・音楽家

1980年、東京生まれ。インドネシア共和国・バリ島にのべ2年間滞在し、影絵人形芝居【ワヤン・クリット】と伝統打楽器【ガムラン】を学ぶ。アジアを中心に世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。また、日本各地でフィールドワークやワークショップを通じて、土地に残る物語を影絵作品として再生させる活動も高く評価されている。平成28年度第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞(2016)

www.kawamuraheisai.com



きくかくえがく1期中学生・大学生サポーターズ

影絵の脚本となるのは、中学生が檜原村に3日間滞在して書いた物語。檜原の人々に取材をしたり、木を伐ったり、川で遊んだり……。たくさんの思い出を凝縮した「フィクション」の檜原村物語です。中学生本人が影絵に合わせて、自分が書いた文章を朗読します。3日間の滞在を中学生とともに過ごし、取材や林業体験のサポートをしてきた大学生たちは影絵の演じ手となります。



田中馨 音楽家

2011年まで、SAKEROCKのベーシストとして活躍。現在は、自身のバンド「HeiTanaka」赤ちゃん、子どもと一緒に楽しむ世界の遊び歌わらべ歌を演奏する「チリンとドロン」幅広い層に人気のアコースティックデタラメうたものユニット「ショピン」を軸に、ベーシストとして数多くのフェスや海外ツアーなどを行う。作曲家としてもCMや演劇、ダンスやアートプロジェクトなど、音楽の場にとどまらず活動中。

www.tanaka-kei.com

お問い合わせ：きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～実行委員会事務局 (NPO 法人共存の森ネットワーク)
tel:03-6432-6580 mail:info@kikigaki-jr.net (担当：工藤・吉野)



進研ゼミ 中学講座



トヨタ環境活動助成プログラム
TOYOTA Environmental Activities Grant Program

